



エピソード

いちご組の前の地面は、水をまくととても気持ちのいい泥ができます。砂場とは違って、たふたふとした泥ができ、スライムのような、てんぷんのりのような、子ども達がずっと触っていたくなるような泥です。

「この泥で何をつくろうかな?」と問いかけると、「パンケーキ」という返事がよく返ってきます。パンケーキをつくる人が多いですが、落ち葉を拾ってきて、泥を包んで折り畳み、「かしわ餅だよ」と言う子もいました。カップやお皿に注いで「おかゆさんだよ」「ジュースだよ」と言う子もいました。

咲き終わったアサガオや、黄花コスモスの花びらも使って、トッピングも楽しんでいましたよ。とてもおいしいようなごちそうがたくさんできていました。

片づけたくなくて、置いたままにしておくと、カチカチに固まっていた。みんなびっくり!「お外は冷蔵庫だったんじゃない!」と言う子もいました。

子どもの育ちや学び

- ・泥を使って何かをつくろうと考えて遊んでいました。
- ・落ち葉や花びらを食材に見立てて遊びました。
- ・近くにいる友達と心地よさやごちそうづくりを楽しんで遊びました。
- ・泥は固まるということを知りました。

保育者の思い

・砂場とは違う泥の感触を十分に味わってほしいと思いました。

・感触を味わった後は、泥を使って遊んでほしいと思いました。また、身近な自然物にも目を向けてほしいと思い、花びら等があることを知らせました。

・片づけずに置いておきたいという子ども達の思いに寄り添い、置いておくことにしました。どうして固まったのかは、正解を求めるのではなく、自分なりに考えたり不思議だなと思ったりする気持ちを大切にしたいと思いました。

家庭だったら・・・

・公園に行かれた時は、砂場でどんなごちそうをつくって遊んでいますか?おうちのまごどではどんなお料理をつくっていますか?また聞かせてください。

・お料理をしている時に、危なくなければ側で見ているといいよという時もあると、子ども達のごちそうづくりにも新メニューが登場するかもしれませんね。